

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがおの広場（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和8年3月2日		～	令和8年3月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和8年3月16日		～	令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月19日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	絵カードを用いた支援を通して、自発的に行動できるよう取り組んでいる。	身辺処理や排せつ面での取り組みにも力を入れている。	声かけのしかたや取り組み方を家庭や他事業所で統一し、共通した支援を行う。
2	構造化を取り入れ、活動のメリハリや区切りを視覚的に理解しやすいよう支援している。	活動のメリハリを意識できるよう、次の行動へ注意を向けたり、視覚的に提示したりしながら、行動へ移せるよう支援している。	一人ひとりの成長段階に応じた活動内容を工夫し、個別に合わせた遊びを提案していく。
3	異年齢交流を取り入れながら、集団での活動と個別の遊びの両方を楽しめるようにしている。	子ども同士での活動を通して、「できた」という経験を積み重ね、自己肯定感を高めながら自発的な行動につながるよう支援している	一人ひとりに合わせた活動を通して、のびのびと自己表現できる場を提供している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との交流や保護者会の参加が低迷している。	コロナ禍以降、保護者との交流や行事への参加が減っている。 保護者会に出席する方がいつも同じメンバーになっている。	参加が増えるよう協力を呼び掛けたり、参加してみたいかなるような企画について役員と相談していく。 以前実施していた「かがやき集会」を踏まえ、交流の機会を検討する。
2	業務の効率化や働き方改革の必要性を感じる。	報酬改定やガイドライン等の改定によりやるべきこと、事務的な業務が増え、子どもとかかわる時間や心の余裕が減ってきている。放課後等デイサービスに特化した業務用ソフトを導入したが、まだ使い方に慣れていないこともあり、効果的な活用はこれからである。	さらなる業務の効率化と業務の整理を推進していく。また、職員のメンタル面にも配慮した業務体制を検討していく。
3			